

ものを *Hirneola (Auricularia) affinis* としてこれと区別すべきであると主張したが、私は種を分ける程の差異を見出し得ない。本種はアフリカ、オーストラリアなどを含む熱帯圏に広く分布し、その北限は屋久島である。さて本種はニューギニアの低地から 2,000 米位の高地の森林に多く見出される。これらの中から上に記した 2 つの色品種を採ることが出来た。

Explanation of Plate X

Upper: *Tremella cinnabarina*.

Lower left: *Auricularia incrassata*.

Lower right: *Auricularia delicata* f. *alba* (upper) and f. *purpurea* (lower).

○シンチクヒメハギの学名 (山崎 敬) Takasi YAMAZAKI: On *Polygala polyfolia* and *P. chinensis*

先にシンチクヒメハギは *Polygala polyfolia* であるとしたが (本誌 48: 142), リンネの *P. chinensis* の基準標本の写真を見ると、従来 *P. chinensis* としてあつかわれていた種類と異り、シンチクヒメハギと同じものであり、F. Adema のあつかいが正しいことがわかったのでここに訂正する。De Candolle 以来、*P. chinensis* とされていたものは *P. linarifolia* Willd. である。また中国高等植物図鑑 2: 577 にある *P. chinensis* の図は *P. glomerata* Lour. であって、しばしば *P. linarifolia* (従来の *P. chinensis*) と同種とされるが、分布範囲が異り、Adema の意見と同じく別種であるとする。 *P. chinensis*, *P. glomerata*, *P. linarifolia* は互いに近縁の種類で Subsect. Buxiformes にぞくし、生育範囲が異なるようである。 *P. chinensis* は東南アジア、ミクロネシアの海近くの乾燥地にはえているようである。 *P. glomerata* は華南、インドシナからヒマラヤに分布し、インドの学者は *P. chinensis* L. var. *latifolia* (Chod.) Mukherjee としてあつかっている。 *P. linarifolia* はフィリピン、インドシナ、マレーシア、インドに分布し、ヒマラヤでは前者より低地に生育しているようである。

Polygala chinensis L. Sp. Pl. ed. 1, 1: 704 (1753). Adema in Blumea 14: 269 (1966). Hatusima, Fl. Ryukyus, 358 (1971).

Polygala telephoides Willd., Sp. pl. 3: 876 (1803). Nakajima in Hokuriku Journ. Geobot. 18: 124 (1970). Acad. Sinic., Iconogr. Cormophyt. Sinic. 2: 577 (1972) in note.

Polygala polyfolia Presl., Rel. Haenk. 2: 101 (1830). Yamazaki in Journ. Jap. Bot. 48: 142 (1973).

Polygala simadai Masamune in Journ. Soc. Trop. Agr. 3: 114 (1931), Trans. Nat. Hostr. Soc. Formosa 28: 45 (1938). (東京大学理学部)